

プロペラシャフト ジャーナル給脂時の注意

プロペラシャフト・ジャーナル部の破損、プロペラシャフトの脱落など重大故障を防ぐ為には、定期的なグリース給脂による潤滑維持が不可欠です。

この為、プロペラシャフト ジャーナル部について、グリース給脂時の注意事項を展開します。

※2014年式クオン以前の車両についても点検/給脂方法は同じです。

■給脂インターバル

各車両の取り扱い説明書、メンテナンスノート、整備要領書などを参照願います。

2017年式クオンでは5000km又は6か月毎（いずれか早く到達した時点）となります。

■グリースはUD純正ベアリンググリースを使用

シャシグリースは耐熱温度が低く、ジャーナル摩耗や焼き付きの原因になる為絶対に使用しないでください。

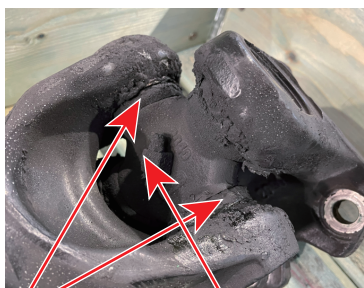
■グリース給脂時の注意

- 給脂開始前に、ニップル回り、及びプレシール回りの汚れを拭き取ってください。
 - ※ プレシールが汚れたままだと、給脂時にグリース排出の妨げとなり、グリースが出てこないことがあります。
 - ※ ニップル部が汚れたままだと、給脂時に、その汚れがジャーナル内に浸入してジャーナル内部にダメージを与えるおそれがあります。
- 給脂は、4か所のプレシール部分全てから、古いグリースが全て排出され、新しいグリースがはみ出るまで行ってください。
 - また、給脂後にはみ出したグリースは最後に拭き取って下さい。

※給脂時、グリースが出てこない場合は部品の交換が必要となります。

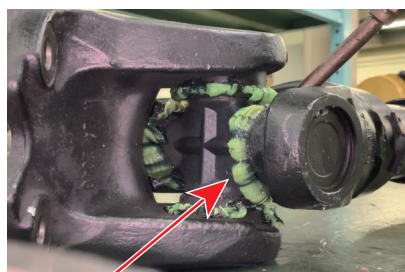
給脂開始前の汚れ除去 ※2017年式クオンの例で示します。

悪い例

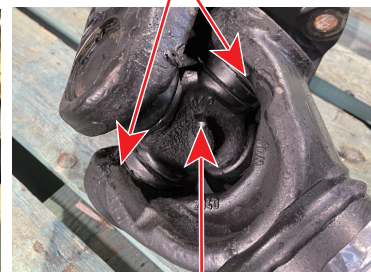


プレシールに汚れ堆積 ニップル汚れ

良い例



新しいグリースがはみ出すのを確認



プレシール汚れ無し

ニップル汚れ無し

おことわり

メンテナンスにおいて、UDトラックスが指定する整備条件やメンテナンスノートに記載の点検整備を怠ったために生じた故障・事故については、保証の対象になりませんのでご注意ください。